

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	まち産業活性部
部(局)長名	中江 理晶

【達成度について】
 A：達成（設定した目標を達成することができた。）
 B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）
 C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 5 コミュニティ施設の利用促進

全体の達成度
A
 達成

目指すべき方向
 公共施設の最適化方針に基づき、コミュニティ施設の最適化に向けた具体的な取り組み内容の整理を行うとともに、地域ニーズに対応した利用しやすい施設運営を目指し地域のつながりを支援します。

活動目標

公共施設の最適化方針を踏まえ、コミュニティ施設における用途分類別の方向性を位置づけます。また、市民にとって公平で、より利用しやすい施設となるよう努めます。

市民センター、山田ふれあい文化センター、コミュニティセンターの稼働率の向上を図るため、施設の空室状況の提供や親しみある事業の広報活動に努めます。

具体的な取組実績

吹田市公共施設最適化推進委員会、一般建築物最適化検討作業部会等において、吹田市公共施設最適化計画の考え方に基づき、コミュニティ施設における用途分類別の方向性の検討を行いました。
 また、指定管理者に対する年2回のモニタリングの中で、管理運営を調査するとともに、指定管理者が独自に行う利用者アンケート等により把握、分析した利用者ニーズを共有し、サービスの向上に努めました。

施設の利用向上を一層図るため、指定管理者に対し、施設での空室状況の掲示、独自のホームページ開設による空室状況や各種イベント情報の掲示を行うとともに、指定管理者が発行する情報誌にも、積極的にイベント情報を掲載するなど広報活動の充実にも努めました。

達成目標

吹田市公共施設最適化計画の実施編において、コミュニティ施設における用途分類別の方向性を位置づけるとともに、施設の特性を活かした利用しやすい施設運営を推進します。

広域的なコミュニティ施設である市民センター、山田ふれあい文化センター及びコミュニティセンターが、より魅力的な施設となるよう各施設の指定管理者等と連携し交流イベントや誰でも気軽に参加できる事業を展開します。

達成状況	達成度
吹田市公共施設最適化計画の実施編を関係部局と調整する中で、多様化する市民ニーズ、地域特性への適応状況などを踏まえ、コミュニティ施設のあり方・方向性について検討し、現状の課題、今後の方向性を用途分類別の方向性として整理しました。 また、施設や地域の特性を活かした施設運営を進めるため、地域住民で組織された団体に施設の管理を任せ、地域住民等が利用しやすい管理運営に努めました。	A 達成
豊一、岸部、千里丘の各市民センター及び山田ふれあい文化センターの4館における利用団体の展示会、発表会等の合同イベントの実施やコミュニティセンターにおけるコミセン祭等での地域で活動する団体の展示会、発表会の実施を通して、利用者以外の方が気軽に参加していただく催しを開催し、施設の利用向上に努めました。	A 達成

総合評価・総括

各施設の設置経緯や利用実態、市民ニーズ等を勘案したうえで、公共施設の最適化方針に基づき、関係部局と協議し、課題の抽出を行った上で、コミュニティ施設の用途分類別の施設の方向性について整理しました。
 今後は、用途分類別の施設の方向性に沿って、個々の施設の方向性の検討を進めます。
 施設の運営方法については、それぞれの地域特性、地域住民の意向を十分に踏まえ、より地域に密着した施設となるよう、施設管理者との情報の共有に努め、市民が安心安全に利用ができる施設運営を図ります。